

平成 28 年度 あばしり学講座 「船上学習会 in おーろら ～水のふしぎ発見!～」

網走市教育委員会 社会教育部 社会教育課 生涯学習係
社会教育主事 鈴木 聡

網走市教育委員会では、平成 22 年度より網走の魅力や価値を再発見・再確認するために、自然景観や歴史的資源を活用し、文化や産業・観光などを学ぶ「あばしり学講座」を実施しております。

今年度は、その 1 講座として郷土への理解を育むことを目的に、「船上学習会 in おーろら ～水のふしぎ発見!～」を道東観光開発株式会社、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、網走地方気象台と連携して企画し、平成 29 年 1 月 21 日(土)に小学生 26 名の参加を得て実施しました。

当日は、水のふしぎ発見!として、水の重要性や、特質、網走の特徴的な水である「流水」に関する講話などのほか、軟水と超硬水の飲み比べや、本物の「流水」や、「南極の氷」を直接触ったり、融ける際の音を聞いたりするなどの体験も行いました。

座学の後、流水観光砕氷船「おーろら」の乗船体験では、あいにく流水は見られませんでした、ほぼ全

員が初乗船ということもあり、デッキに出て風を感じたり、オホーツクブルーの海を体感することができました。船内では、特別に機関室や操舵室の見学させていただき、操舵室では船員の方の制服や帽子をお借りして 1 人 1 人記念写真を撮影するなどして、大いに盛り上がりました。

全体の満足度は約 90%と高く、「南極の氷と流水に触れられて楽しかったし、勉強になった!」、「流水のあるときに家族で乗りに来る!」などのコメントがありました。

地域学の観点でも、流水についての学習の機会、地元の人がなかなか乗ることのない「おーろら」への乗船など、地域理解の貴重な機会となりました。

参加者が講座の最後に書いた絵日記などを通じて、家族や友人などに今日あったことを話し、多くの方が地域への関心や、理解の輪が広がっていくことを願っています。



本物の「流水」



本物の「南極の氷」



軟水と超硬水の飲み比べ



参加者 絵日記



「おーろら」の前で集合写真